

“丸太くい”もうやめませんか？

ジュポールアンカー(JP)

当社が50年間支えつづけた電柱支柱を結集した実績NO.1の地下支柱！

ポイント 1

1. 多少硬い地盤でも専用工具でらくらく打込み
2. ワイヤーの張りで施工完了を確認

ポイント 2

1. どんな樹木に対しても強度計算から規格を決定
2. 規格外の樹木についても対応可能



ポイント 3

1. 幹のサイズに合わせ、調整しやすいワイヤー構造
2. 根の生育を妨げない穴あき押さえ構造
3. アンカー打込み作業と同時に根鉢を固定

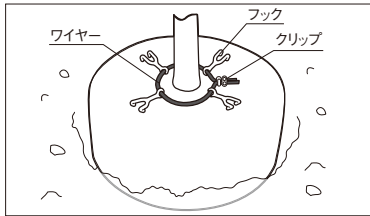
ポイント 4

1. 樹木の“たち”を決めてからでも施工可能
2. 不定形な根鉢（特に機械移植）でもぴったりフィット
3. 横に広がらない直進抗のため、狭小地でも施工可能

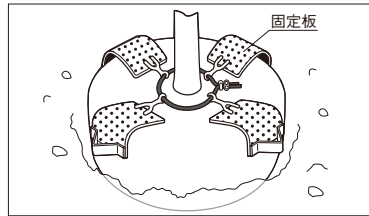
施工手順

専用工具でらくらく、しっかり施工!
※工具は無償でお貸しいたします。

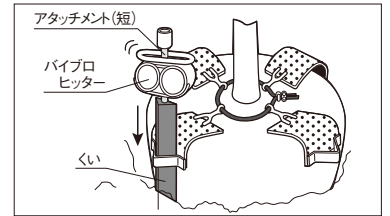
JP1~4L



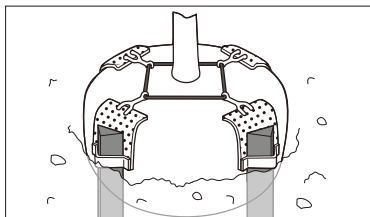
1 フックにワイヤーを通し、幹元にクリップにて取付ける。



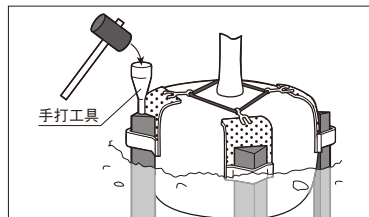
2 バランスよく固定板を取付け、フックをかける。



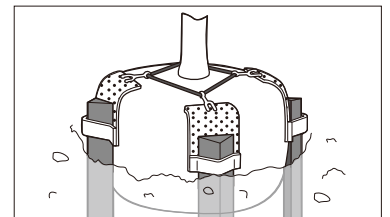
3 固定板にくいを差し込み、アタッチメント(短)を取付け、パイプロヒッターで打込む。



4 仮打込み完了。水ぎめを行う。

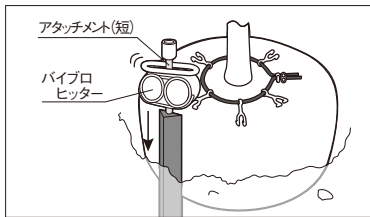


5 水ぎめ後、手打工具をくいに取付け、ワイヤーのバランスを取りながら、大ハンマーで本打込みを行う。

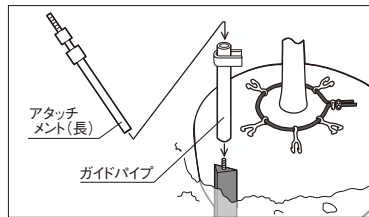


6 施工完了。

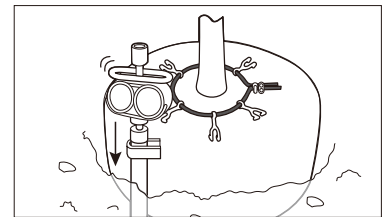
JP-6~18



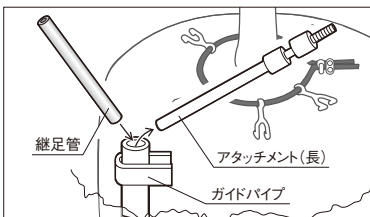
1 幹元ワイヤー取付け後、パイプロヒッターでくいを打込む。



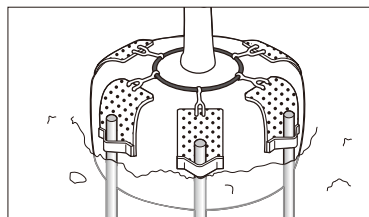
2 くいをGLまで打込み後、アタッチメント(長)をガイドパイプに通し、くいに取付ける。



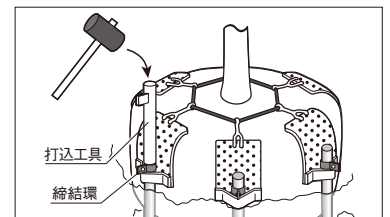
3 この状態でさらにGLまで打込む。



4 ガイドパイプを地中に残したまま、アタッチメント(長)を抜き、継足管を取付ける。その後、ガイドパイプを引き抜く。



5 継足管に固定板を通し、フックをかける。



6 打込み工具を締結環にかぶせ、バランスよく大ハンマーで打込み、施工完了。(ワイヤーが動かなくなるまで打込む)

規格表

※下表は目安となります。正確には都度、強度計算により規格選定いたします。

| | 樹高 (m) | 目通幹周 (m) | | 樹高 (m) | 目通幹周 (m) |
|-------|--------|----------|-------|--------|----------|
| JP- 1 | ~2.5 | ~0.15 | JP- 6 | ~ 9.0 | ~1.20 |
| JP-2S | ~3.0 | ~0.25 | JP- 8 | ~10.0 | ~1.30 |
| JP-2M | ~3.5 | ~0.40 | JP-10 | ~11.0 | ~1.40 |
| JP- 3 | ~4.5 | ~0.70 | JP-12 | ~12.0 | ~1.50 |
| JP-4S | ~5.0 | ~0.80 | JP-14 | ~13.0 | ~1.60 |
| JP-4M | ~7.0 | ~1.00 | JP-16 | ~14.0 | ~1.60 |
| JP-4L | ~8.0 | ~1.10 | JP-18 | ~14.0 | ~1.70 |